

地方創生推進交付金に係る 事業報告について

「シートの見方」

1、事業概要

事業名	< 交付金申請時の事業名称を記載 >				No. @
交付金を活用して目指す将来像	< 交付金申請時に記載した事業将来像（目標）を記載 >				
事業費、実施期間等	当該年度の対象事業費 千円	交付率 (/)	当該年度の交付額 千円	実施期間 元号 年度 ~ 元号 年度	
事業費の内訳	< 対象事業費の内訳を記載 >				
			担当課	< 事業所管部署を記載 >	

2、指標及び実績等

指標番号	< 設定した指標を記載 >	< 年度毎の「目標 対 実数」をグラフで表示 >
増加目標	< 事業開始前の数値のほか、年度毎の目標値を記載 >	
年度実績	< 年度毎の実績値を記載 >	
達成度(率)	< 達成値、達成率を記載 >	

3、審議会委員からの評価

事業の評価	委員からの主な意見
 有効が半数を超える  無効が半数を超える  それ以外 < 評価内容を記載 > (有効であった・有効でなかった・どちらでもない)	< 委員から受けた「主な意見」を記載 >
< 評価毎の委員数を記載 > <ul style="list-style-type: none"> ・有効であった： 人数 ・有効でなかった： 人数 ・どちらでもない： 人数 	

1、事業概要

事業名	キラリかがやけ玉名市創生計画 ～熊本県北における交流拠点都市を目指して～				No. 1
交付金を活用して目指す将来像	<p>1、国内外観光客の増加や観光消費額の向上、県北地域の特産品の付加価値を向上し、売上げ増大を実現させ観光・物産の事業者や農産物生産者の所得向上を図り、ひいては、地域に魅力ある雇用を創出する。</p> <p>2、県北地域に人の流れと国内外の他都市に、玉名地域産品の流通経路を創出し、玉名市や県北地域一帯に新たな「しごと」と「ひと」の好循環を創る。</p>				
事業費、実施期間等	平成 30 年度対象事業費 20,000 千円	交付率 1/2	平成 30 年度交付額 10,000 千円	実施期間 平成 28 年度 ～ 平成 30 年度	
事業費の内訳	<p>■商品販売事業 (3,500 千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・玉名地域産品海外販路拡大プロモーション事業 700 千円 ・物産品販売体制強化事業 2,800 千円 <p>■人材育成事業 (3,000 千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光誘致人材育成並びに旅行商品受注プラットフォーム拡充事業 3,000 千円 <p>■インターネット、ソーシャルメディア活用事業 (1,500 千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品供給体制構築・マーケティング調査事業 500 千円 ・玉名地域産品海外販路拡大プロモーション事業 1,000 千円 <p>■メディア戦略構築・実施事業 (7,000 千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・玉名地域産品海外販路拡大プロモーション事業 2,000 千円 ・熊本城おもてなし武将隊を活用した情報発信強化事業 3,000 千円 ・メディア戦略構築事業 2,000 千円 <p>■マーケティング調査 (5,000 千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品供給体制構築・マーケティング調査事業 5,000 千円 				
			担当課	ふるさとセールス課	

2、指標及び実績等

指標 ①	外国人宿泊観光客数
増加目標	事業開始前 2,000人 ・平成28年度(1年目) 2,000人 ・平成29年度(2年目) 2,500人 ・平成30年度(3年目) 3,000人 事業終了後増減目標数 +1,000人
年度実績	・平成28年度(1年目) 1,373人 ・平成29年度(2年目) 2,030人 ・平成30年度(3年目) 2,984人 事業終了後増減実数 +984人
達成度(率)	-16人 (99.5%)



指標 ②	観光ほっとプラザ「たまらら」販売額
増加目標	事業開始前 51,000千円 ・平成28年度(1年目) 51,000千円 ・平成29年度(2年目) 55,000千円 ・平成30年度(3年目) 65,000千円 事業終了後増減目標数 +14,000千円
年度実績	・平成28年度(1年目) 36,819千円 ・平成29年度(2年目) 38,064千円 ・平成30年度(3年目) 37,881千円 事業終了後増減実数 -13,119千円
達成度(率)	-27,119千円 (-%)



3、審議会委員からの評価

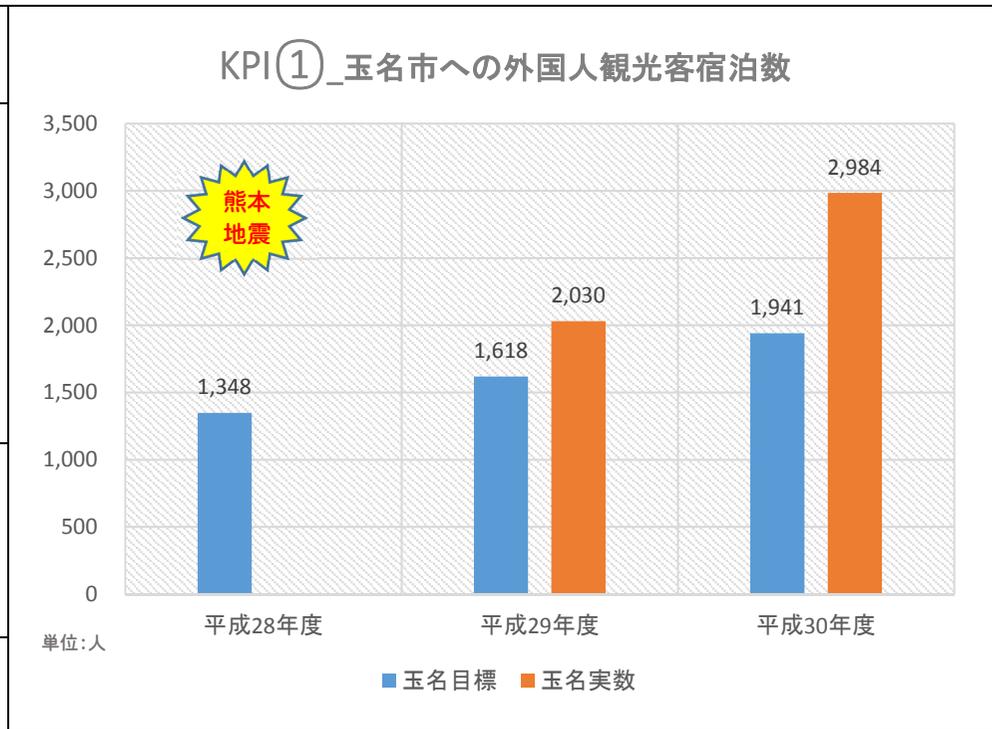
事業の評価	委員からの主な意見
 有効であった	<ul style="list-style-type: none"> ・香港・台湾をメインターゲットに、各種調査事業及びプロモーション事業等を展開され、商談成立に繋がるなどの効果も表れてきており、有効であったと考える。 ・各事業の個別取組や実績値の状況から総合的に判断すれば、玉名市やその物産品のPR、今後の展開に繋がる活動となっているのではないかと感じた。
<ul style="list-style-type: none"> ・有効であった： 8人 ・有効でなかった： 1人 ・どちらでもない： 1人 	<ul style="list-style-type: none"> ・「タマてバコ」へのアクセス数の伸び等、PR面では順調に推移しているが、指標を達成していないので有効でなかったと評価すべきところだが、将来展望が持てる事業と判断し有効とした。 ・海外への販売は諸に就いたところと思われるが先方の感触と売り上げにつながる見通しはまだ不透明。今後の活動に期待したい。 <p style="text-align: right;">など</p>

1、事業概要

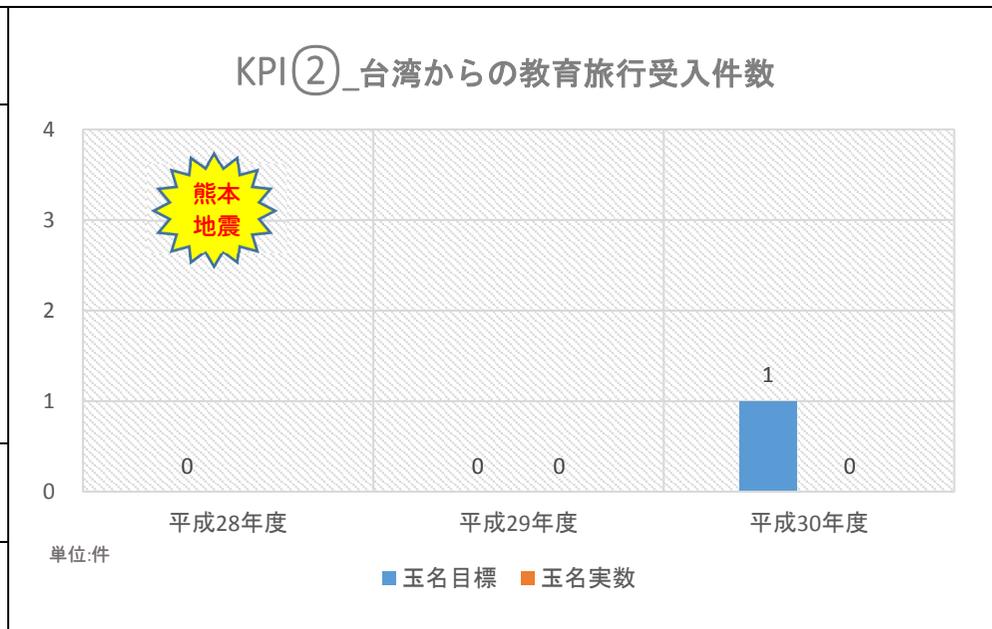
事業名	熊本県北インバウンド推進事業				No. 2
交付金を活用して目指す将来像	多様な関係者の連携のもと、海外の旅行者へのプロモーションや受入環境の整備等に取り組むことで外国人観光客の増加を図り、宿泊や飲食、交通、農業等幅広い分野での消費を拡大することで、地域経済の活性化を目指す。				
事業費、実施期間等	平成 30 年度対象事業費 (玉名市分) 2,457 千円	交付率 1/2	平成 30 年度交付額 (玉名市分) 1,228 千円	実施期間 平成 29 年度 ~ 令和 3 年度	
事業費の内訳	<p>次の取り組みについて、県、玉名市、菊池市、山鹿市及び和水町で組織する「熊本県北観光協議会」に玉名市分 2,457 千円を負担金として支出し事業運営。</p> <p>■食や農業体験を中心とした観光素材の磨き上げ 『物産品の販路拡大に向けた国内外の展示会・商談会への出展及び旅行商品造成に向けた現地セールス』</p> <p>■滞在時間延長と消費拡大の取組み 滞在を宿泊に繋げるための施策 『物産品の販路拡大に向けた国内外の展示会・商談会への出展及び旅行商品造成に向けた現地セールス』 教育旅行の誘致（熊本電鉄㈱とのタイアップ事業） 『物産品の販路拡大に向けた国内外の展示会・商談会への出展及び旅行商品造成に向けた現地セールス』 農産品の消費拡大の取組み 『物産品の販路拡大に向けた香港バイヤー招請及びお土産品のテスト販売』</p> <p>■プロモーションツールの開発と海外への展開 『海外メディアの活用及び情報発信』 『観光 PR 動画の字幕作成及び指差し会話帳の作成』</p>				
			担当課	ふるさとセールス課	

2、指標及び実績等(玉名市のみ)

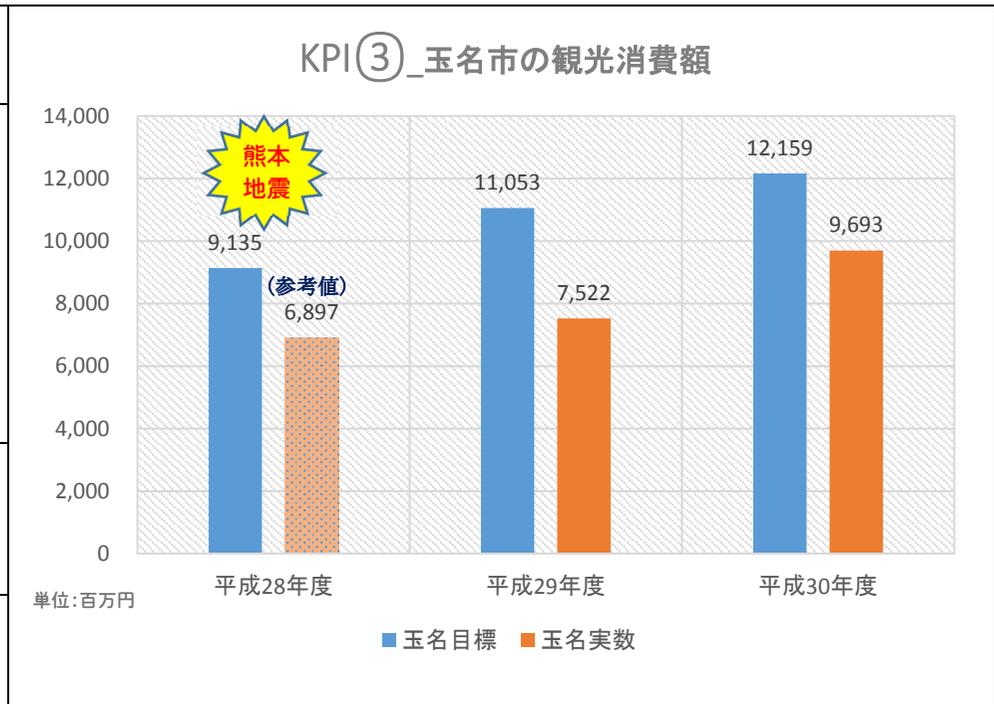
指標 ①	玉名市への外国人観光客宿泊数	
増加目標 (玉名市)	事業開始前	1,348 人
	・平成 29 年度 (1 年目)	1,618 人
	・平成 30 年度 (2 年目)	1,941 人
	・令和元年度 (3 年目)	2,330 人
	・令和 2 年度 (4 年目)	2,796 人
	・令和 3 年度 (5 年目)	3,355 人
	事業終了後増減目標数	+2,007 人
年度実績 (玉名市)	・平成 27 年度 (参考値)	2,247 人
	・平成 28 年度 (参考値)	1,373 人
	・平成 29 年度 (1 年目)	2,030 人
	・平成 30 年度 (2 年目)	2,984 人
達成度(率)	平成 30 年度	+1,043 人 (153.7%)



指標 ②	台湾からの教育旅行受入件数	
増加目標	事業開始前	0 件
	・平成 29 年度 (1 年目)	0 件
	・平成 30 年度 (2 年目)	1 件
	・令和元年度 (3 年目)	2 件
	・令和 2 年度 (4 年目)	3 件
	・令和 3 年度 (5 年目)	4 件
	事業終了後増減目標数	+4 件
年度実績	・平成 29 年度 (1 年目)	0 件
	・平成 30 年度 (2 年目)	0 件
達成度(率)	平成 30 年度	- 1 件 (-%)



指標 ③	玉名市の観光消費額
増加目標 (玉名市)	事業開始前 9,135 百万円 ・平成 29 年度 (1 年目) 11,053 百万円 ・平成 30 年度 (2 年目) 12,159 百万円 ・令和元年度 (3 年目) 13,375 百万円 ・令和 2 年度 (4 年目) 14,713 百万円 ・令和 3 年度 (5 年目) 16,184 百万円 事業終了後増減目標数 +7,049 百万円
	年度実績 (玉名市) ・平成 28 年度 (参考値) 6,897 百万円 ・平成 29 年度 (1 年目) 7,522 百万円 ・平成 30 年度 (2 年目) 9,693 百万円
達成度(率)	平成 30 年度 -2,466 百万円 (-%)



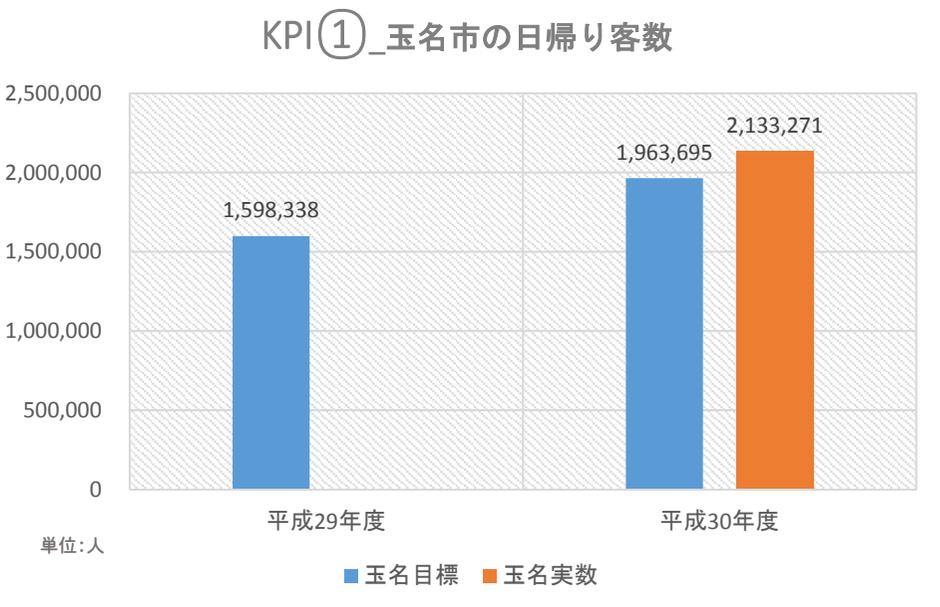
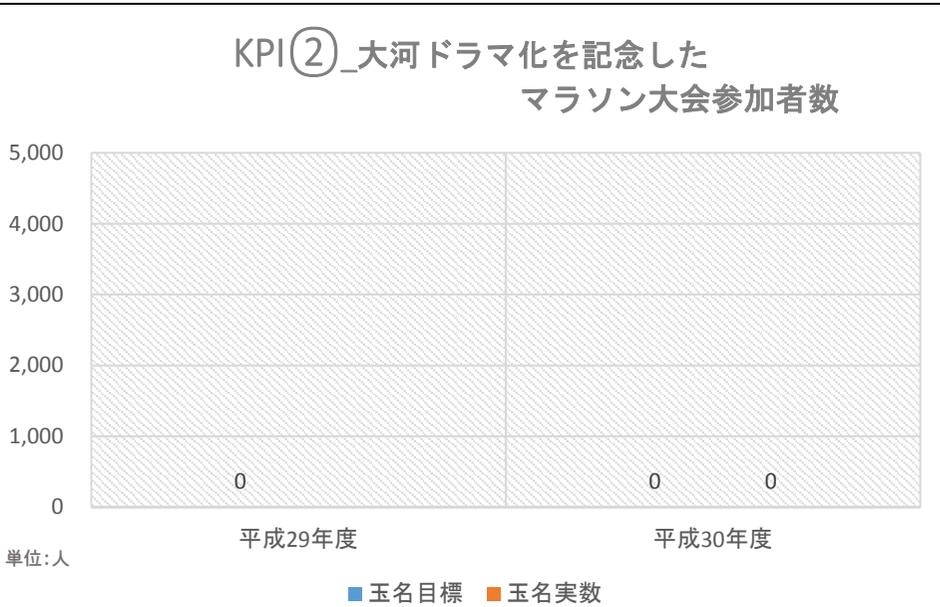
3、審議会委員からの評価

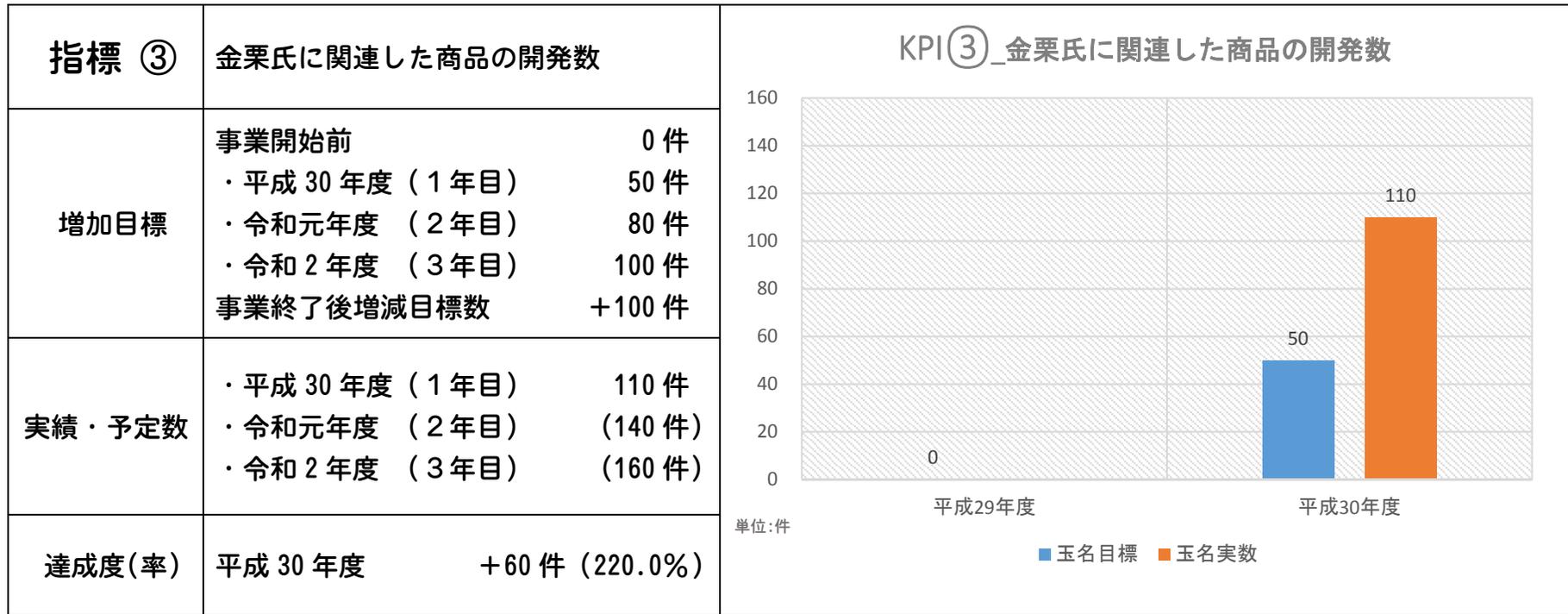
事業の評価	委員からの主な意見
 有効であった	<ul style="list-style-type: none"> ・海外販路販売などのノウハウが不足している事業者・生産者にとっては、意義の大きな取り組みであると感じた。 ・官民一体となった地域連携事業として高く評価したい。今後は地域の事業者や住民への報告機会を設けることも必要か。 ・4市町による合同プロモーション等により、旅行者や企画会社の認知度が向上、玉名市事業者の商談が成立したケースもあり、今後の販路拡大や誘客に期待できることから有効であったと考える。
<ul style="list-style-type: none"> ・有効であった： 8人 ・有効でなかった： 1人 ・どちらでもない： 1人 	<ul style="list-style-type: none"> ・物産品販売等の点でNo.1の事業と類似の目的であり、4市町が連携する強みを活かした事業を組み立て、その目的に絞った事業展開を期待したい。 ・「玉名＝温泉」を温泉組合にもっとアピールしてもらえないのか。「気楽に温泉に入り、その後安価に和食を楽しむ」これが出来れば玉名温泉が、より身近になり、リピーターになってくれるのでは。 <p style="text-align: right;">など</p>

1、事業概要

<p>事業名</p>	<p>大河ドラマを契機とした県北地域の広域周遊観光プロジェクト</p>				<p>No. 3</p>
<p>交付金を活用して目指す将来像</p>	<p>金栗四三氏ゆかりの地であることを全国にPRするとともに、訪れる観光客のニーズに対応した観光施設の整備と他の地域も周遊するための取組み等を実施し、大河ドラマによる誘客効果を最大化させ、県北地域にその経済効果を波及させる。また、本事業で広域連携した観光振興への取組み手法やノウハウを他の全域にも広げていく。</p>				
<p>事業費、実施期間等</p>	<p>平成 30 年度対象事業費 (玉名市分) 18,802 千円</p>	<p>交付率 1/2</p>	<p>平成 30 年度交付額 (玉名市分) 9,401 千円</p>	<p>実施期間 平成 30 年度 ~ 令和 2 年度</p>	
<p>事業費の内訳</p>	<p>■観光誘客促進 (9,000 千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テレビスポット企画制作費 ・テレビスポット放送料 <p>■受入体制整備 (9,802 千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金栗四三地方創生循環バス運行業務委託 ・小田地区物産販売所整備 <p>■誘客効果の持続・発展と周遊観光の拡大 (0 千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民参加型マラソンの在り方を検討するためのシンポジウム開催 ・新規物産品開発支援 				
			<p>担当課</p>	<p>金栗四三PR推進室</p>	

2、指標及び実績等

指標 ①	玉名市の日帰り客数	<p style="text-align: center;">KPI①_玉名市の日帰り客数</p>  <p style="text-align: center;">単位:人</p>
増加目標	事業開始前 1,598,338 人 ・平成30年度(1年目) 1,963,695 人 ・令和元年度(2年目) 2,329,052 人 ・令和2年度(3年目) 2,694,416 人 事業終了後増減目標数 +1,096,078 人	
年度実績	・平成27年度(参考値) 2,195,436 人 ・平成28年度(参考値) 1,398,893 人 ・平成29年度(参考値) 1,598,338 人 ・平成30年度(1年目) 2,133,271 人	
達成度(率)	平成30年度 +169,576 人(108.6%)	
指標 ②	大河ドラマ化を記念したマラソン大会参加者数	<p style="text-align: center;">KPI②_大河ドラマ化を記念したマラソン大会参加者数</p>  <p style="text-align: center;">単位:人</p>
参加目標(玉名市)	事業開始前 0 人 ・平成30年度(1年目) 0 人 ・令和元年度(2年目) 4,000 人 ・令和2年度(3年目) 5,000 人 事業終了後増減目標数 +5,000 人	
実績・予定数	・平成30年度(1年目) 0 人 ・令和元年度(2年目) (8,000 人) ・令和2年度(3年目) (8,000 人)	
達成度(率)	—	



3、審議会委員からの評価

事業の評価	委員からの主な意見
 有効であった	<ul style="list-style-type: none"> ・指標から、日帰り客数、マラソン大会参加者数、関連商品開発すべてにおいて目標を大きく上回っており、事業性は有効であったと評価する。 ・大河ドラマ効果による集客・誘客ができなければ、それらによる経済効果も波及しないため、将来的に経済効果が継続するように取り組んで下さい。 ・更に自治体間や官民の連携を深め、創意工夫を凝らした取り組みによって、金栗四三氏のもつ潜在的な誘客効果を高めていく必要があるように感じました。 ・大河ドラマは視聴率頼みの部分が大きく、外的要因が大きい。今後の視聴率向上を期待する。メディアを使ったPRも必要だが有料としてのパブリシティを考えるべき。 <p style="text-align: right;">など</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・有効であった： 10人 ・有効でなかった： 0人 	